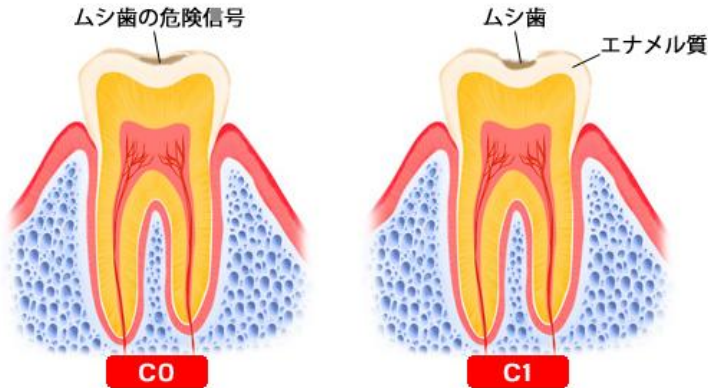


ムシ歯の治療

【C0・C1の場合】

「歯の健康教室」は、スマートフォンでもご覧いただけます。



ムシ歯のはじまりです。

歯の表面やエナメル質だけの進行であったり、色の変化だけの場合など、穴が開いていない状態であれば、削らずに日頃からの食生活の管理、ブラッシング、フッ素塗布などの予防的な処置で、再石灰化（歯の回復）を促し、定期検診で経過を見ることが多いです。

ひとつの歯を複数回治療すると、基本的に歯はだんだん小さくなってしまいます。自覚症状がなく、詰め物・被せもの隙間などが無い場合には、古いからといってやり直す必要はないと思われませんが、ムシ歯は進行が進むにつれ、犠牲になる健康な歯の量も増えて治療回数も多くなるため、痛みやしみるなどの自覚症状が続いて気になるようであれば、早めに歯科医院を受診することをオススメします。

